

みぬま見聞館だより No.65

令和4年9月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

写真は、ケースの中で羽化したネキトンボの抜け殻です。幾重にも重なって同じ場所でトンボになりました。

今年のオムラサキは、いただいた冬越しの幼虫から7頭が、チョウになりましたが、6月下旬の猛暑でオスが2頭1週間で亡くなってしまいました。生き物もあの暑さはとても厳しかったようです。その後暑さ対策で日よけをしたところ、最後に7月8、9日に生まれたオスとメスが2週間以上生き延びました。



ネキトンボの抜け殻

ネキトンボ



写真①



写真②



写真③

上の写真は、ネキトンボです。いつも、ヤゴ救出で頂いてきたヤゴをケースに入れて育てると数匹羽化する年が稀にありましたが、どのヤゴかハッキリと断定できませんでした。

今年、下落合小学校のプールから、アカネ属の中でも、他と明らかに違うヤゴを数十匹見つけ育ててみました。その結果、

ネキトンボであることが判明しました。育てたネキトンボを

数十匹庭園に放しました。普段、みぬま見聞館周辺ではほとんど見かけません。

一見すると、ショウジョウトンボに似ていますがショウジョウトンボはわき腹に黒い線(写真①)がありません。真上から見ると翅の付け根がオレンジ色になっていて、ショウジョウトンボと似ています。成熟するとオスは特に真っ赤に染まります。

きゅうしゅつだいさくせん おこな ヤゴの救出大作戦2022を行いました！



もとぶとしょうがっこう
本太小学校



ひがしおなりしょうがっこう
東大成小学校



きざきしょうがっこう
木崎小学校



ひがしみやしたしょうがっこう
東宮下小学校



よ の はちまんしょうがっこう
与野八幡小学校



しもおちあいしょうがっこう
下落合小学校



今年も学校のプールからヤゴ（トンボの幼虫）の救出を行い、沢山のヤゴを救出する事ができました、全部で約11,790匹のヤゴを救出し、自然庭園・屋上庭園に放しました。

中学校5校（大原、大宮北、片柳、与野東、尾間木）、小学校20校（木崎、芝川、上木崎、海老沼、大砂土、高砂、針ヶ谷、北浦和、本太、芝原、大谷場、美園、美園北、向、東宮下、与野八幡、東大成、徳力、沼影、下落合）のご協力を頂きました。* 順不同です

救出したヤゴの中には、ギンヤンマのヤゴが、25校中7校で救出されました。

内訳は、アカネ属7,722匹、ショウジョウトンボ1,413匹、シオカラトンボ2,285匹、コシアキトンボ1匹、ギンヤンマ27匹、イトトンボ342匹でした。

その他、ヒメガムシ、クサカゲロウ、コマツモムシ、ミスカマキリ、アズマヒキガエルのオタマジャクシも見つけました。アカネ系のヤゴには、表紙のネキトンボが多数含まれていました。他のヤゴ何匹かをアカムシを与えて育てましたが、7月中旬になっても羽化しないヤゴが数匹いました。翅の出来たヤゴは1週間しないで羽化しますが、未成熟のヤゴは育てるのが大変です。

本太小学校、東大成小学校、木崎小学校では3年生の授業でヤゴの救出大作戦を実施、うち本太小学校、木崎小学校においては、市環境対策課による生物多様性の講義も行いました。東宮下小学校は、3、4年生の授業でヤゴを救出しました。与野八幡小学校、下落合小学校では、土曜チャレンジスクールで親子参加の中、トンボの説明、実体顕微鏡を使ったヤゴの抜け殻の観察、ヤゴの救出を行いました。

幼児政策課の保育者研修が行われました！

6月24日に、幼稚園教諭・保育所保育士、認定こども園保育教諭における様々な課題に対応し、保育の専門性を高めるための実技研修の一つ「幼児の自然に対する興味・関心を育てるための自然体験」が行われました。庭園で生き物に触れたり、ススキの葉を使った金魚作り、エコライト工作を行いました。



幼児政策課の説明



生き物体験



エコライト工作



ススキの金魚作り



さくひん作品



さくひん作品

幼稚園・保育園・公民館・小学校で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しています。写真は常盤保育園、植水保育園、奈良保育園、大東保育園、諏訪保育園、大古里公民館、美園北小学校で出前講座を行った時の写真です。講座の内容は相談に応じます。是非、ご利用ください。



常盤保育園



植水保育園



奈良保育園



大東保育園



諏訪保育園



大古里公民館



美園北小学校

未来くるワーク体験が行われました



大原中学校



木崎中学校

7月5日～7日大原中学校2年生、7月11日～13日木崎中学校2年生の未来くるワーク体験を行いました。それぞれ、みぬま見聞館の開館作業、庭園のプランターの植え替え、屋上庭園の整備を体験しました。

たんたいけんがく
団体見学について



① 広場で生き物探し



② 水の生き物探し



③ し尿処理について



④ 環境対策課による生き物調査



⑤ 環境創造政策課による電気自動車の説明



⑥ 庭園散策

・6月16日 芝川小学校2年生が生活科の授業で訪れました。(写真①②)

・6月29日 北浦和小学校3年生が社会科の授業で訪れました。(写真③④⑤)

・7月19日 聖フランソア幼稚園が遠足で訪れました。(写真⑥)

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した上で芝川小学校は3班、北浦和小学校は8班、聖フランソア幼稚園は2班に分かれ対応いたしました。

なお、見学の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。

お知らせ

- ・ 9月1日(木)「いきもの、みつけた!写真展」の写真の募集を開始します。
 - ・ 11月20日(日)秋の自然観察・環境学習会が行われます。
 - ・ 11月29日(火)リース作りが行われます。
- 以上を予定していますが、状況に応じて中止や縮小などの場合もありますので、くわしくは市のホームページでご確認ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 FAX048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。

